

給与等集中処理特別会計

特別職3人、一般職190人（前年度比5人減）の人件費を一括処理するもの。

歳入総額・歳出総額共に

15億6119万円

（前年度比380万円減）

認定（全員）

Q 森 治史議員

繰入金が3010万円と大きな金額だが、延々と続いていくのか。それとも一定限なのか。その見直しは。また、後年の設備・機械類の修繕とか買い替えも検討課題として議論しているのか。

漁業集落排水事業特別会計

歳入総額 519万円

歳出総額 518万円

差引残額 1万円

平成26年度末の加入世帯数は23戸。認定（全員）

A 森下 農業振興課長

償還については、全部の機械、維持管理も含めて、平成25年度に最適整備構想として委託し、その中で償還も含めて検討をしている。繰入金額は、検討により金額も変わるのですが、はっきりとは答えられないが、現状では、大体この額でということになる。この委託事業で、更新する分についても耐用年数なども加味した経費も含めての検討はしている。

農業集落排水事業特別会計

歳入総額 3743万円

収入未済額 10万円

歳出総額 3689万円

差引残額 53万円

平成26年度の新規加入戸数は1戸で、平成26年度末の加入世帯数は150戸。認定（全員）



森下 農業振興課長

平成27年度黒潮町一般会計補正予算

マイナンバー 新庁舎関連など

1億円余を追加し、総額115億円余に

黒潮町一般会計補正予算

1億319万円を追加し、

歳入歳出総額を115億1900万円とするもの。

概要は、マイナンバー制度

導入に伴うセキュリティ対策、新庁舎建設に伴う上水道

の配水管敷設工事の実施設計

委託と施工管理委託、まち・

ひと・しごと創生事業費を新

設し、幡多地域への観光客の

誘致活動などの事業、町道の

維持管理費の追加、国道56号

沿いの建築物の耐震診断事業

などを追加計上した。

可決（多数）

主な補正

（△は減額）

歳入

○地方交付税

2億3991万円

歳出

○国庫支出金 1149万円

○県支出金 1047万円

○町債 4028万円

○繰入金

△3億6648万円

○繰越金 1億4888万円

○諸収入 1824万円

A 松本 情報防災課長

検査は町で行う。

セキュリティ対策は、当然国の基準、指導に基づいて実施する。そのための仕様書を固めていき、それに従って委託業務の検査を行う。

ただ、国の示す安全なセキュリティの方法は、極めて単純で、物理的か、論理的に分けるかのような基準となっている。

■マイナンバー制度用プリンタ購入費 154万円

本庁と支所に1台ずつ、マイナンバー制度で使用する本人確認書類裏書印字システムを購入する費用

Q 藤本 岩義議員

パソコンやプリンターでの問題は記録が残ることだが、このマイナンバー制度用のプリンターは、これに対応したものか。

A 藤本 住民課長

このプリンターは、パソコンとつながって、プリンター

マイナンバー制度導入セキュリティ対策委託費 2295万円

Q 藤本 岩義議員

マイナンバー制度導入セキュリティ対策の予算が組まれているが、委託後の検査や確認は課長がするのか。

特に、今、国民はこのマイナンバーが外へ漏れないかと心配をしているので、確認がきちつと行われるかを伺う。

Q 藤本 岩義議員

Q 藤本 岩義議員

Q 藤本 岩義議員

Q 藤本 岩義議員

Q 藤本 岩義議員

Q 藤本 岩義議員

Q 藤本 岩義議員

Q 藤本 岩義議員

Q 藤本 岩義議員

Q 藤本 岩義議員

Q 藤本 岩義議員

Q 藤本 岩義議員